



## ユーザの追加

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager データベースで新しいユーザのグループを追加し、ユーザを電話機や他の IP テレフォニー デバイスに関連付けることができます。



(注)

社内ディレクトリを使用しており、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 同期が有効である (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [システム (System)] > [LDAP] > [LDAP システム (LDAP System)] の順に選択) 場合は、BAT を使用してパスワードをリセットしたり、ユーザを挿入/更新または削除したりすることはできません。LDAP の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド 7.0*』を参照してください。

この章では、ユーザの一括処理について説明します。

次のトピックでは、ユーザ レコードを管理する方法について説明します。また、電話機とユーザ、または CTI ポートとユーザ レコードなどの、Cisco Unified Communications Manager LDAP データベース内のユーザの組み合わせを一括管理する方法について説明します。

- 「ユーザの追加」 (P.15-1)
- 「ユーザ レコードのエクスポート」 (P.20-1)
- 「ユーザ レポートの生成」 (P.22-1)

## ユーザの追加

複数のユーザを Cisco Unified Communications Manager データベースに一括して追加する手順は、次のとおりです。

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、追加するユーザごとに個々の値を定義します。
  - 詳細については、「[BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成](#) (P.15-2) を参照してください。
  - ユーザ用のテキストベース CSV データ ファイルの作成方法については、「[ユーザ用のテキストベース CSV ファイルの作成](#)」 (P.A-7) を参照してください。
2. BAT を使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースにユーザを挿入します。詳細については、「[Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入](#)」 (P.17-1) を参照してください。



(注) 追加するユーザに Cisco IP SoftPhone などの CTI ポートが必要とするアプリケーションがある場合、BAT を使用して CTI ポートを既存のユーザに関連付けられます。

#### 追加情報

「関連項目」(P.15-5) を参照してください。

## BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成

Cisco Unified Communications Manager データベースに新しいユーザを追加するために詳細を BAT スプレッドシートに記述した後、それを CSV データ ファイルに変換できます。

BAT スプレッドシートのインストール方法と使用方法については、「[BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法](#)」(P.1-9) を参照してください。

新しいユーザを一括して追加するための CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、**BAT.xlt** ファイルを検索し、それをダブルクリックします。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** ユーザを追加するには、スプレッドシートの下部にある [Users] タブをクリックします。
- ステップ 4** すべての必須フィールド、および該当するオプションフィールドに値を入力します。各カラムの見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須かオプションかを指定しています。各行に、[表 15-1](#) で説明されている情報を指定します。ユーザが複数のデバイスを持つ場合、デバイス名フィールドは各デバイスに 1 つずつ設定します。

**表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明**

フィールド	説明
[First Name]	電話機ユーザの名を 64 文字以内で入力します。
[Middle Name]	電話機ユーザのミドルネームを 64 文字以内で入力します。
[Last Name]	電話機ユーザの姓を 1 ～ 64 文字で入力します。
[User ID]	電話機ユーザのユーザ ID を 1 ～ 128 文字で入力します。
[Password]	Cisco IP Phone 設定ウィンドウへのアクセス時にユーザが使用するパスワードを 128 文字以内で入力します。  パスワードは、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して指定する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別のパスワードを適用する場合は、CSV データ ファイルでパスワード情報を指定してください。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、BAT 内でユーザを挿入するときにデフォルトのパスワードを設定します。

表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[Manager User ID]	電話機ユーザのマネージャのユーザ ID を 128 文字以内で入力します。
[Department]	電話機ユーザの所属部門番号を 64 文字以内で入力します。
[PIN]	エクステンション モビリティで使用される Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を 128 桁以内の数値で入力します。 PIN は、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して入力する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別の PIN を適用する場合は、CSV データ ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザが使用できるデフォルト PIN を使用するには、BAT にユーザを挿入するときにデフォルト PIN を指定します。
[Default Profile]	このユーザとデバイス用のユーザ デバイス プロファイルを、50 文字以内で入力します。ユーザ デバイス プロファイルは、BAT に表示される Cisco Unified Communications Manager の管理ページ内の既存の UDP のリストから選択できます。
[User Locale]	このユーザに関連付ける言語と国/地域を 50 文字以内で入力します。この選択内容によって、言語やフォントを含むロケール属性のどれをこのユーザに適用するか、および Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウと電話機をどの言語で表示するかが決まります。
[Controlled Device 1]	このユーザに関連付ける電話機またはデバイスの名前を 50 文字以内で入力します。 <b>(注)</b> スプレッドシートの右端の [Number of Controlled Devices] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[Controlled Device] フィールドが表示されます。
[Telephone Number]	電話機のプライマリ内線 (通常は回線 1) の電話番号を 64 桁以内の数値で入力します。
[Primary Extension]	このフィールドは、ユーザが追加され、ユーザのプライマリ データベース番号が設定された後に表示されます。デバイスをユーザに割り当てる場合は、プライマリ回線を選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。
[Associated PC]	このフィールドは、Cisco SoftPhone および Cisco Unified Communications Manager Attendant Console のユーザに必須のフィールドであり、ユーザが追加されると表示されます。
[IPCC Extension]	ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザの ICD 内線を選択します。
[Mail ID]	エンドユーザの電子メール アドレスを 255 文字以内で入力します。

表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[Controlled Device 2]	<p>このユーザに関連付ける追加の電話機の名前を 50 文字以内で入力します。</p> <p>(注) スプレッドシートの右端の [Number of Controlled Devices] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[Controlled Device] フィールドが表示されます。</p> <p>(注) まず、[Controlled Device 1] フィールドに値を入力してから Controlled Device エントリを追加する必要があります。</p>
[Presence Group]	<p>データベース番号、プレゼンス エンティティのステータスを監視するプレゼンス グループを入力します。</p> <p>プレゼンス機能については、『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』を参照してください。</p>
[SUBSCRIBE Calling Search Space]	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したすべてのコーリング サーチ スペースが、[SUBSCRIBE コーリング サーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] は、エンドユーザからのプレゼンスの SUBSCRIBE 要求を Cisco Unified Communications Manager がルーティングする方法を決定します。特にこの目的のためにコーリング サーチ スペースを設定するには、他のすべてのコーリング サーチ スペースと同様にコーリング サーチ スペースを設定します ([コールルーティング (Call Routing)] &gt; [コントロールのクラス (Class Control)] &gt; [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)])。</p> <p>コーリングサーチ スペースの設定方法については、『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド</i>』を参照してください。</p>
[Digest Credentials]	<p>SIP を実行している電話機にダイジェスト認証を設定すると、電話機が Cisco Unified Communications Manager に SIP 要求を送信するたびに、Cisco Unified Communications Manager が電話機の身元を確認します。このフィールドに入力されたダイジェスト信用証明書は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択したときに、電話機に関連付けられます。</p> <p>最大で 128 文字の英数字による文字列を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証の詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド</i>』を参照してください。</p>
[User Group]	<p>ユーザが属するユーザ グループを入力します。</p> <p>(注) スプレッドシートの右端の [Number of User Groups] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[User Group] フィールドが表示されます。</p>

**ステップ 5** 新しいユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[Number of Controlled Devices] テキストボックスに値を入力します。



(注) CTI ポート、ATA ポート、および H.323 クライアントなど、すべてのデバイスをユーザに関連付けることができます。

**ステップ 6** [Export to BAT Format] をクリックして BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDataFiles に保存されます。または、[Browse] を使用してファイルを別の既存フォルダに保存できます。ファイル名は次のとおりです。

<tabname>-<timestamp>.txt

ここで、<tabname> は、作成した入力ファイルのタイプ（たとえば、phones）を表し、<timestamp> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポートするときに、そのフィールド エントリは二重引用符で囲まれます。

スプレッドシートにブランク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われず。ブランク行の後に入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager データベース サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ ファイルにアクセスできるようにする必要があります。詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。



(注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT 内の [ユーザの挿入 (Insert Users Configuration)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

#### 追加情報

「関連項目」(P.15-5) を参照してください。

## 関連項目

- 「ユーザの追加」(P.15-1)
- 「ユーザ レコードのエクスポート」(P.20-1)
- 「ユーザ レポートの生成」(P.22-1)
- 「BAT ログ ファイル」(P.83-3)

